

CASBEE® - 建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	介護付有料老人ホームあべやま	階数	地下1F地上3F
建設地	福岡県北九州市小倉南区湯川4丁目1061-	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居地域、防火地域指定なし	平均居住人員	65人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年7月 予定	評価の実施日	2014年7月15日
敷地面積	1,677㎡	作成者	上瀧 鈴
建築面積	977㎡	確認日	2014年7月17日
延床面積	3,180㎡	確認者	上瀧 鈴



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 17%
③上記+②以外の 17%
④上記+ 17%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 超高齢化社会を念頭に、安心して住める居住環境に配慮し仕上げ材やディテールを選定。居室の開口部にはカーテン等の遮蔽物を採用し、外皮性能の向上に配慮。また、地域住民にも使ってもらえる様な機能訓練室も設置し、地域社会と共存していける老人施設を実現。		その他 注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 熱不可の高い西面には居室を向けないよう計画。また、開口を大きくとり良質な屋光環境を創っている。	Q2 サービス性能 居室は基準以上の十分な面積を確保する他、維持管理性と居住性を両立した内装計画を行なう。井水を利用。	Q3 室外環境(敷地内) 坂道の道路にそって敷地内空地を設け消防活動スペースを確保しながら、極力緑化に努めている。
LR1 エネルギー 外皮性能を高めるとともに、高効率の照明器具、空調設備を採用しエネルギーの効率化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 躯体と分別が容易な仕上工法を採用している。内装材には特定有害物質を含有する材料を使用しない。	LR3 敷地外環境 敷地内最終枡を溜樹状にすることで、一斉に道路枡へ雨水が流入しないよう配慮。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される